

報 告 書

開催日時	平成 27 年 10 月 5 日 (月) 19 時～20 時 40 分		
開催場所	三花公民館		
出席議員	坂本 (盛)、森山、松野、居川、井上、佐藤		
	班 長	森山	
	司 会 者	坂本 (盛)	
	記 録 者	居川	
参加人数	17 名		
主な要望 ・ 提 言 等	A 氏		
	○議会として総合戦略を出していくのか？市が出している総合戦略との関係は？		
	議会としては市の総合戦略の審議会に 3 名出席している。こちらからの提案も織り交ぜながら行っていく。		
	B 氏		
	○現状と課題とあるが、どういった方から出た意見か？抽象的過ぎる。例えば、ここに記載されている課題以外にないのか？		
各地区の円卓会議や分野別会議、出前懇談会において出された意見の中から選んだ。議会でも政策研究会にて子育て支援に関する提言書を提出している。			
○日田のPRや情報発信はどう行っていくのか？日田は林業と観光であるためどう絡めていくか。間伐材やウッドコンビナートの活用は？			
インターネットや外国の方に分かりやすい様に多言語化等にも取り組んでいる。それに日田は林業に恵まれているため地方創生に生かせる様に検討したい。議会報告会での意見もしっかり持ち帰る。			
C 氏			
○円卓会議とは何か？こっち (三花地区) では聞いた事がない、円卓会議だけの意見なのか？			
各振興局単位でコンサルや職員も交えて行っている。その他に市民アンケートを 4500 通郵送し、1800 の返信があり分野別会議、出前懇談会等、色々行っているが意見を集約出来てない部分もある。			
○「大都市に住む元気な高齢者に地方に移り住んでもらう」とあるが、後々財政がマイナスになるのでは？元気な若者を呼ぶ事を考えるべきである。			

人口分散や空き家対策の国が打ち出している政策の 1 つである (CCRC)。勿論、若者に移り住んで貰う事も大事。

○ショッピングセンターの誘致とあるが、以前日田市にて大型商業施設が出来る計画があったが市民が反対した。もうその様な事がないのか？

各会議で出された要望が多い案であり、現状を見ると周辺部に買物に行っている。検討課題の 1 つとして挙げている。

D氏

○ここに記載されてある現状と課題を全て出来れば素晴らしいが現状を考えれば難しい、優先順位があるのでは？

どの施策をすれば人口が減らないか、これから執行部との議論や議会の提言も含めて優先順位を決めていく。

E氏

○平成 20 年から三花公民館では婚活事業を行っている。市が行えば大きな窓口となり幅広い人が来るため行政の支援もお願いしたい。

政策研究会でも結婚に関しては検討課題としている。

F氏

○昨年度、森林・林業・木材産業振興ビジョン事業に 800 万の予算を付けているが、どの様なビジョンが出来ているか？

予算の中身は分からないが、ビジョンは策定されており需要拡大の取組内容等も記載されている。

G氏

○アンケート項目の問 6 について。私たちの地域ではケーブルテレビを知らない。このような地域の状況を議員の方々は知らないのではないか。情報環境の格差を感じる。情報が一元化されていない。K C V に加入している方が少ない。理由は、料金が高いからである。高齢者、低所得者には優遇措置があるが、一般的に高いのではないか。もっと安ければ加入者が増えるだろう。

この話は過去にもあった。現状を伝えておく。

H氏

○若い者が安心して生活できる水準の賃金とすべき。特に地場産業の賃金体系の改善が必要。最低賃金は守られているからいいというものではない。若者の流出を抑えるには、都市部との賃金格差の解消が必要である。

I氏

○高齢化社会に伴う在宅介護への負担軽減について。外国では家族が在宅介護を行う場合には、休職している間の賃金の負担を手当する制度があるようだ。家族が介護に専念でき、また介護による離職があっても生活が維持できるようである。そういう制度が実現できると、過疎と介護の負担が軽減されると思う。

健康寿命を延ばし、社会保障費の抑制に努めてもらいたい。一つの提案として受け取らせてもらう。

J氏

○6月議会での安保法案に関する請願第1号について、市議会は不採択となった。議員は民意を背負っていることを自覚して、賛否の意思表示をしたのか。個人的な賛否の判断なのか。民意を感じながら議会に臨んでももらいたい。